

ワークショップ 7

<p>企画名</p>	<p>日本プライマリケア連合学会編集委員会/研究支援委員会合同 WS 「抄録ブラッシュアップ」 ～わかりやすく採用されやすい抄録を作ろう～</p>
<p>企画 責任者</p>	<p>野口善令（名古屋第二赤十字病院 総合内科）</p>
<p>定員</p>	<p style="text-align: center;">36 名</p>
<p>目的 概要</p>	<p>これまで編集委員会企画ワークショップでは、Case Report の抄録ブラッシュアップ WS を行ってきました。</p> <p>今回は、研究支援委員会と合同で臨床研究の抄録ブラッシュアップ WS を開催します。</p> <p>【学習目標】 本ワークショップでは、臨床研究の基本を抄録のブラッシュアップを通して学びます。</p> <p>【方略】 実際の抄録原稿を題材にして、査読者の視点も交えてわかりやすく採用されやすい抄録にするにはどうブラッシュアップしたらよいかをテーマにグループワークを行います。</p> <p>【概要】 以下の着目点について検討します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①タイトルと研究内容 ②PECO (PICO) ③研究デザイン（対象患者・要因/介入・比較・アウトカムの測定方法） ④研究結果と結論の乖離 ⑤研究目的と研究方法の乖離 <p>【対象】 臨床研究に興味のあるプライマリ・ケアに関わる全ての医療者</p>